

2021

12

令和3年

フレッシュ

旭川印刷製本工業協同組合

北海道印刷工業組合旭川支部

この広報は従業員にも掲示回覧してください。

事務局 旭川市7条通23丁目 電話0166-31-5581

## 適正価格に留意

日銀の企業物価指数が9%アップしています。日経電子版によると「オイルショックが影響していた1980年12月以来およそ41年ぶりの大きさ。原油など国際商品価格の上昇に加え、円安で原材料にかかる輸入品が値上がりしている。新型コロナウイルス禍で景気回復の足取りが鈍いなか、企業収益を圧迫する懸念が強まっている。」ということです。1980年のオイルショックよりひどいとなると、かなり注意が必要です。値上げが1回に限らず、品薄も起こります。

また日刊工業新聞ニュースイッチは「脱炭素化が重要課題に浮上し、ボイラでの石炭利用などが少なくない製紙業界。強力な対策が迫られ、将来的なコスト負担は増す。家庭紙への構造転換や固定費削減など企業努力ではコスト上昇を吸収しきれず、安定供給が続けられない切迫感がうかがえる。」と伝えています。

<すでに発表または実施された諸材料の値上げ>

9月1日 ダイアミック印刷材料10~12%値上げ

10月1日 最低賃金引上げ

10月1日 竹尾製品一部値上げ(大王製紙関連)

10月1日 FFGS印刷材料10~15%値上げ

10月18日 DICインキ15%値上げ

11月4日 日本製紙1月1日から15%以上値上げ

11月9日 大王製紙1月21日から15%値上げ

11月9日 三菱製紙1月1日から15%以上値上げ

11月26日 政府3%の賃上げ要請

12月15日 TOYOインキ20~30%値上げ

印刷代金は材料費と人件費の塊ですから、最賃値上げに相まって材料費の値上げにより、販売価格の見直しが急務となります。お客様に情報を伝え、適正価格に理解を求めましょう。

(2021年12月14日発行通算273号)

## 中堅優秀技能者に太田浩文さん

中堅優秀技能者に太田浩文さん(植平印刷、1級製版技能士)が選ばれ、11月5日表彰式が行われました。DTPオペレータとしての実績が評価されたものです。残念ながら技能の日の祝賀会は中止されました。



## 旭川新年交礼会1月21日奮って出席を

旭川印刷製本工業協同組合の新年交礼会は1月21日金曜日アートホテル旭川で、特段の状況変化がない限り感染防止措置をとった上で開催いたします。来年は新型コロナ以上に向かい風が吹きそうです。そんな中組合員同士の協力、励まし合いのためにも皆様多数のご出席を願います。

組合員の会費は無料、賛助会員は半額です(二人目から1万円)。ファックスでお申し込み下さい。

締め切りは12月20日です。

## 雇用調整助成金特例延長

雇用調整助成金の特例措置は令和4年3月まで延長されました。ただし、1月以降の助成最大額が下がる予定ですが、省令がまだ決まっていません。

検討書式が変更になっているときがあります。申請時に新しい書式をダウンロードして使ってください。

[雇用調整助成金の様式ダウンロード](#) 🔍

## 改正電帳法施行で何が変わる

改正電子帳簿保存法が1月から施行されます。国税関係帳簿(総勘定元帳、仕訳帳およびその他の書類)は実物を7年間保存義務があります。それを電子化して(スキャンして)保存可能な法律です。しかし事は簡単ではないようです。改ざん防止と検索の手立てが必要です。

まず早急に対応しなければならないのはPDFなどのデジタルで渡された請求書や領収書はプリントを保存しただけではだめで、デジタルのまま保存しなければなりません。ネットで購入したときなど請求書も領収書もメール対応ですので、これも必ず保存しなければなりません。すでにデジタル請求書を発行しているところがありますので、要注意です。さらにこれらに改ざん防止手続きをして、検索のためのたてを準備しなければなりません。まるで税務査察のために整えているみたいです。専用ソフトの売り込みが始まっているようですが、詳しいことは担当税理士にご相談ください。尚、省令により2年間の猶予期間が設定される見込みです。

懸念されるのは電帳保存が普及したら紙の請求書、領収書だけでなく、それを入れる封筒の印刷もなくなるのでは、ということです。PCで請求書を書かれても、封筒だけは必要という現状は変わるようになるかもしれません。

## 旭川印刷製本工業協同組合賛助会員

賛助会員として下記の方々が登録されました。

(順不同)

大丸株式会社道北支店

株式会社大西紙店

株式会社三輪商会

エイチケイエム紙商事株式会社旭川支店

共同印刷機材株式会社

株式会社光文堂北海道営業所

ハート株式会社札幌支店

株式会社キングコーポレーション札幌営業所

株式会社須田製版旭川支社

株式会社クボタ贈商

協同組合を強力にバックアップしていただきますよう、お願いいたします。

## DX初めの一步 データの見える化

デジタル化を実現したら大事なのはデータの公開、共有です。他の会社に公開する必要はありませんが社内で共有する価値は大いにあります。

名刺を共有すると、社内にすでに知っている人が居るかもしれないと調べられます。狙っている新規顧客にすでに当たっている人がいるかもしれません。あるいは外した方がいいかもしれません。

写真データを整理しておくで転用したいときに探し出しやすくなります。市長の写真などCMYKに変換されていてそのまま使えたりします。

経理も売上金額や入金を営業に公開していないと回収を忘れて遅れたりします。

ある印刷会社では、作業時間を営業マンとデザイナーのマトリックス表に書き込んで、作業効率のいい組み合わせがあるのではと、模索しています。

別のある製本所では、各製本機械の近くにPCが置いてあって、過去のデータが見られるようになっています。驚いたことに作業予定や仕様だけでなく、過去のトラブルやその回避方法も書かれていました。再度担当する人はもちろん引き継いだ担当者に重要な情報となります。

残余用紙や取り置き用紙についてはデータベースを作って営業も見ることができるとムダの回避につながります。折角とってあるのに新たに発注したり、紙質はおまかせなのにわざわざ取り寄せたりしなくなります。

作業の進行状況を知りたいことがあるとき、情報が公開されていると便利です。校正はいつだろうか、紙は来ているのか、下版したのだろうか、製本に回っているのだろうかを知りたいときがあります。印刷機械メーカーでは印刷機械から情報を書き出して、コンピュータに集約し、誰でも見られるようにするソフトを開発して、さかんにアピールしています。ただ、旧来の機材や人間からの情報収集をきちんとできないとうまく運用できません。

こうした「見える化」は活用の始まりです。便利なものはどんどん活用されてきます。始めて見ませんか。

<お詫び>

新年交礼会案内状でアートホテル旭川の住所が間違っていました。正しくは7条通6丁目です。

<事務局日誌>

11月15日 総務委員会  
11月16日 北印工組三役会  
12月 3日 第7回理事会  
12月10日 北印工組三役会

<予定>

2022年  
1月 5日 市・会議所新年交礼会(中止)  
1月 6日 日印産連新年交礼会(東京)  
1月 7日 道印刷関連業新年交礼会(札幌)  
1月12日 第8回理事会  
1月21日 新年交礼会(アートホテル旭川)  
2月2日~4日 PAGE2022(東京)

